

第 173号 内容紹介

1, 村山俊夫「軍事反乱の危機を防いだ韓国」

12月3日、突如宣布された非常戒厳令を市民と議会在が阻止。民主主義の新しいページを刻む日々をソウル在住市民の報告（12月10日）。

続編12月11日の報告。

2, 大久保賢一「被団協のノーベル平和賞受賞を活かそう」

命をかけた被爆者の訴えに動かされ、伴走してきた法律家（反核法律家協会会長）が、思いを語る。

3, O・カシフ「私は決して降伏しない」

イスラエル国会（クネセト）で、パレスチナ人との共同の旗をかかげる会派「ハダシュ」のユダヤ人議長が、フシズム化する社会と極右シオニストとのたたかいを語る。

4, R・インラケシュ「シリアを経済的に破壊した米国の制裁」

シリアを国際的に孤立させ経済破綻させ、分裂させたのは米国である。シリアに完全な服従を強いるためだと、バイルート拠点のジャーナリストが一年前に告発している。

5, ギャラップ調査「ウクライナ国民の半数以上が早期終結を望む」

10月におこなわれた調査で、戦争にたいする国民世論の大きな変化が明らかになった。52%ができるだけ早期に戦争終結の交渉を行うことを望んでいる。詳細な意識調査。

その他の記事は「ALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_newsの編集日記 \(livedoo n a 愛用紹介 r.jp\)](#))